追
加
日
清
通
商
航
海
條
約

明治三十八年十二月二日原李波谈

アジア歴史資料センター Japan Center for Asian Historical Records

大日本國皇帝陛下及

大 淸 國 帝 ル 最 終 下 議定書第 ハ 则 麥 拾 拾 34F. 條 儿 规 月 定 П = 尤 即 分 光 緒 劾 hi 力 拾 ナ 興 年 -1: ^ 4 月 ĴΪ カ 爲 拾 Лi. ہر Π 11 清 北 W 京 國 ==) ゔ 通 商 關係 乜 =)

= II. 坿 進 乜 ÷ シ タ ル 逍 加 通 商 航 海 條 約 チ 締 結 ス **2.1** シ

之

カ為メニ

大日 木 國 W > 公 便 館 贷等 $\{l\}$ 記 官 從 Лi. 郁. 勳 Ŧi. Ŷ Π 征總領 11 īE. 六 郁. 勳 Ξi. 答 小 IJ 萬

之助サ

大清 國皇帝 全權委員 陛 == 任 命 せ 1) 因 ゔ 呂 谷 **寰太子** 全 權 委 員 少 保 25 \mathcal{H} 前 \mathcal{I} <u>---</u> 共 部 Źť. 1 侍 委 那 任 狀 盋 富 :*)*. 憁 苏 1/4 シ 其 部 Tr. 1 ΪĘ 俳 好 邓 妥 伹 當/延 穷 ᢖ. ル 各 チ 認 其 ہر

ラ左ノ條頂サ協議決定セ。

郛 滋 清國 ハ 财 政 枛 制 ス 度 N 爲 ナ 改 ملار 海 īE. 叉 IL *>*\ 闪 地 7 及 1i 衂 シ 境 ini > 稅 ゔ 褟 **金** :)· 通 制 過 度 ス 1 全 IL 谷 臉 *=*: 作 依 對 シ ス

外 徴 ス 議 ゔ 木 図 ٧, 清衂 71 各 條 約 蚁 協議

上決定スルモノト同率ノ附加税テ支拂フコトサ承諾ス

ス ル 產 消 習 造 稅 叉 國 產 鴉 片 及 쪮 稅 ::: 3/ 木 或 ハ 各 條

但 力 定 國 貿 權 承 利 及 t: 特 權 :1 比 ₹⁄ 何 等 不 利

iili

ス

本 及 特 他 徭

地 亿 カ *-*11

乜 條 寫 満 政 :1 承 ス 11 ·C 以 湖 ゔ 南 湖 北 ŻΙ. 宙. 各 省 N 瓜 慶 比 1 利 1 流 == 緣 曳 1:

7 ゔ 認 ΠŢ ...1

1/i Ĥ H 行 及 形 共 <u>:</u>: 交 逝 _1 得 #: ス $\cdot \mathbf{t}$ Xi 設 ::* =: ゔ 水 路 3/ ゔ 义 ハ 潸 圆 蚁 海 形

=: ゔ =;

參 及 加 规 11 ::1 依 ス 貿 谷 易 11 11 的 水 :J-以 11 船 ゔ 清 71 國 開 國 洮 海 場 1 屑 1) 儿 ゔ 届 1: 111 内 ゔ 地 タ 水 ル

ス

木 蚁 ľi. 比 共 [ii]シ ヴ il. 當 11 11 的 :*}*-以 ゔ 刹. 介 Ý

 ν タ フ IL 塲 合 清 契 ハ ---ハ 約 裁 比 义 ハ 判 **=**:. 慰 ハ ハ ゔ 直 定 定 4 定 歘 = ス 右 1i 又 及 久 1i 處 作 務 :J: 扩 ス 心 === 定 ---シ H 11 *†*1 爲 木 國 訴 務 裁 介 訟 判 及 ÷ 履 肵 ÷J 提 行 起 解 ス 各 釋 Ŀ 4 == ラ

定 欵 岩 li --シ *=***:** <u>::</u> キ 丛 義 IL 紃 紃 往 ゔ 强 公 合 定 曾 タ 益 ル 組. 義 織 朡 シ 行 Ŀ 國 ٠١)٠ ハ lii. 契 民 約 カ 义 # 奖 H 約 覺 叉 本

第 li. 政 設 诚 實 カ 國 行 褙 標 ナ 侵 害 ス IL :)· 松 遏 ス IL

爲

必

E.

===

ナ

裁

判

Ŋî

ŧ

亦

也

政 又 ゔ ΙÜ 民 A 飒 7. 濟 版 川 **=**:. 供 ÷J. 保 ス 護 ル 爲 ス ىر IL 作 製 4 必 ル ル

定 約

4

地

及

海

翻

シ

П

本

國

ノ

有

ス

IL

局 ナ シ 及 保 護 1 13 今 [ii] 政 府 === 於 ゔ 制 定 ス ^ 4: 规 则

H 本 國 法 律 =:3 ۳ 儿 定 保 īE. ル 從 從 ル ÷J· 阁 爲 標 ス 及 版 シ 權 ٨, П 木 國 = 於

ケ 侵

木 公 刋 书 贩 W 人 ダ П 水 Fi. 民 叉

解

ス

11

ラ

片 貨 *>*\ 條 設 清 ス 法 \mathbb{H} 當]-ス 進 右 =: === ラ 進 對 作 シ 全 衂 凶 定 == ũ 於 ゔ H 滸 度 W 國 Įű. 設 比 シ 均 全 國 3/ ----定 法 貨 1 流 7 25 通 海 >

第

Wi シ 算 支

債

辨

濟

===

:).

 \sim

シ

シ

デ

自

田

第 -12 定 條 A. 國 國 政 各 官 引 便 逑 シ 曾 図 外 逝 ッ 蚁 [11] 附 īħ 人 定 置 TT 木 :: ---障 位. 碍 褶 γ ス 闪 淀 ル 度 是 地 :). 量 以 及 葵 ゔ 清 ス Z 飒 K ^

コ 7 ス 新 定 度 址 衡 现 扩 度 址 衡 ተ -1 差 異 γ ル 胩 ハ 其 X: 異 額 ---應

シ 坿 公 **:**4

條 7 光 ル 緒 以 ゔ 华 Τi. 政]] 府 *>* \ 14 之 水 修 ïE. 11 :}-船 加 航 通 木 條 約 及 == 儿 1i 新 效 规 H 追 \cdot 有 添 加 仆 ス ŦĠ. ノ、 #: **.1** }- $:\mathcal{F}$ 不 約 便

儿 Ł. П ν ·I)· IJ 姟 =1 ---化 化 ナ 確 ス 條 义 約 11 及 木 定 政 府 规 沚 13 25 木 |¦i 民 條 通 約 24 航 辦 迎 改 il: 洲 义 業 ٧, 及 廢

ス

等

机

Л.

[ii]

Ü

依

躺

改

난

ij

IL

ル

~,*

ゔ

ハ

÷

ス

IL

大

清 國 Ϋ́ 账 义 **下** 义 ٧, ---既 政 府 -4 义 與 ٧, 清 乜 ラ iňi V 义 省 ハ 岩 將 25 來 圳 附 Ji 興 官 衙 4. ij 1 $\hat{}$ 他 國 #: ___ IJ 政 府 ノ 特 B 權 吏 兇 Hi 除 K 及 通 利 鸻 益 航 海 チ

政 ハ Π = 寉 清 蚁 官 吏 及 βĹ 比 **:**-• 對 3/ 省 蚁 汉; 律 规 圳 1 許 ス 限 I) 戚 \sim ク 優

遇 興 フ _t ÷ 努 4 ^

完

全

淳

受

ナ

IJJ

===

玆

=:

规

定

ス

第 拾 144 直 緋 省 =4 駐 屯 ス n 外 衂 軍 隊 及 公 便 館 護 衛 灭 總 ゔ 撤 退 シ 合

ゔ 直 住 及 貿 京 市 内 地 ナ ク 並

於

政 ス 條 約 准 交 於 H ブ **力**i = === 約 ス 71 [[i] 開 港 在 市 留 间 外

條 テ 比 间 地 爲 遵 ij 官 承 =

·ŋ.

义

[ri] ハ 省 人 大 東 本 居 住 ナ 約 及 批 貿 准 易 --交 换 爲 定 力 役 ス 衂 所 似 居 作 规 及 **=**. 貿 ハ П 清 政 浦 府 iii iii ٦. ゔ ル 京 .1: 地 域 省 水 天 定 府 擇 L

條 ナ 政 施 府 行 **/**\ 北 設 木 國 法 非 ハ 右 收 jE. 议 īE. =: 3/ 11 な 國 拔 及 助 11: ナ 71 興 441 谷 フ ^ #: ...1 -適 チ 合 シ 満 L

縮 頒 國 全 條 F ٨, П 本 水 文 文 漢 木 文及 文 英文 ŀ 淡 文 水 ゔ 文 [:]] |111 = シ 釋 相 Ŧ 違 將 ァ 來 塲 紛 合 識 ÷ 避 25 其 ク 相 爲 違

淵 文 本 文 == 照 ラ 之 ナ 狄 定 ス #: ナ 約

第 參條 本 條 約

大清

皇

ᢚ

陛

F

之

ij.

准

ク

ilii

>

ゔ

批

准

将

ハ

本

11

:1

Ŋ

六

月

以

囚

速

大日

水

國皇

崖

1

北 京 =-於 ラ 换 ス

ゔ Мá 衂 全 委 員 本 條 約 <u>...</u> 署 名 目 ス

IJJ 宍 月 八 Π 即

光 拾 儿 śţί. 八 月 拾 八 11 1: 海 === 於 ゔ 作

大 木 衂 約改 訂委員

使館 **党等**書 謂 官 從 Ξi. 郁. 勳 Лi.

 Π

置

益

領事 正六位勳五等 小

総

小田切萬壽之

助

大清阈條約改訂委員

商 T 太 少 部 倮 部 Mij た 11. 部 倘 /i. 偝 郎 $\{l_i^n$ 耶 盛 呂 们 海 ΪÏ 延 労 懷 实

附屬第壹號

追加內地水路汽船航通

筝 條 日 本 所 以 商 由 水 == 公 沿 湘 總督 時 價 -}. ---條 拾 貸 伴 又 Ii. 渡 以 酌 Ħ Z 消 ゔ 大 定 ij 介 庫 條 及 D. = 頭 淌 ナ 介 臣 民 ス ナ ス 倉 賃 賃 ル

條 頭 之 水 ル Ŀ 义 ノヽ 右 行 -4 可 故 ナ 位 ク 之 == ナ 拒 務 [iii

港地 清 = ---H 11 課 如 チ ス 1 倉 仆 111 頭 ŧ :: 對 H 本 近 商 149 業 於 ٧, 内 地 41 迎 乜 漕 業 然 = 從事 ス n 船 雇員 自 或 1 人

九

該 地 ---出 國 E 民 <u>:-</u>* 對 ス IL 凊 國 1 现存 管 轄 權 ٧. 水 Ŋį 1 縞ソ 何 等 减 損 叉

>\ 乜 æ ス

第 ĮΨ 條 清 岸 有 主 = 及 水 > タ 行 ル 損 ス 失 ル 汽 刘 該 船 毁 ٧, 損 沿 岸) 寫 叉 مد =: <u>4</u>: Ŀ シ A = 於 11-摄 ヶ 失 ル 建 == 對 設 > 赔 チ 償 賞 シ ァ 囚 IL

步

ゔ

處 ア = ル 爲 某 澻 水 合 水 要 ナ 川 受 ナ メ ÷J· 15 タ IL П ス 近 木 図 地 #: 官 == u 吏 害 北 チ ス 及 但 故 水 V 清 暺 ス

小 汽 小 及 溡 小 川 水 也 岡 T 傷 シ 囚 ラ 地 方

ス

二

比 內 ナ 用 H 水 ゔ = 政 == 巡 便 府 **=**: 於 便 11. 水 路 ナ 之 行 ÷ 通 於 過 ナ 希 望 ス ス IL 叉 主 H ハ 25 後清 右 内 等 外

11 义 n 劜 == 轉 Ϋ́ સ ラ ν [ii] 國 风 旗 下 ---移 ₰. ル ル 7 ŀ = 何 等 KIL 碍 ス IL 嬔 ታ 11 ル $\hat{}$

) 旗 設 シ 沈 瓷 ન્દ 合 ---興 於 游 國 セ Ť 何 本 飒 Įį. 民 デ 71 該 國 曾 泚 14 1 株 水 \pm 路 ダ === 於 ル) デ 4 II ハ 其 航 行 7 汽 ナ 船

第 ዾ ル 登 3 乜 H. ス ヺ 該 ı 携 ス 木 ル 内 地 定 水 =1. 路 國 行 夕 巡 肜 سال ナ 船 収 消 71 從 > 該 來 船 常 25 == 槠 並 後 犯 内 ~-4 p---4 'nſ ラ 條 行 チ 規 11: 淀 乜

之 ナ 放 汽 船 シ E. 11 因 來 船 航 ij 肵 從 ---宿 來 怬 汽 裄 ν 船 == 於 往 テ 闪 其 復 地 居 1 セ 業 1). 住 務 比 ル 内 == チ 利 地 潤 水 ゔ 路 γ ル ハ カ 商 寫 \sim 人 # مد 儿 成) 込 便 IL 宜 γ ::: ク 應 臘 ተ 攊 丰 シ 成 ___ 乜 限 11. ij ^ ク 放 セ 氼 4 =1

來 船 往 復 ને **71** + #: 水 路 ::1 北 1 航 通 開 11 ス 合 於 兆 最 近

港 督又ハ 所在稅務司 巡撫 =) 旨 ヴ 本 ナ 件 === 쎎 テ 該 ス 税務 IL 總 育) ゔ) ハ 情狀 之八 商 ナ 務 許 大臣 查 1 上直ニ =: 通 牒 許可 シ [ii] 大臣ハ チ 與っ 該地 ^ 丰 方 퍈 ノ ノ ٠,

第八條 登 洮 内 <u>--</u>*. 於 ゔ Æ 式 屆 港 叉 > ダ IL

又該

船

>\

海

褟

^

ノ

航

行

途中

通

地

過ス 右 開港 11-^ 往 = ゔ ス 貿 易 ⊐ 地 認 ہر Ħ ダ ル 於 テ 乘客 叉ハ 碋 ٨, ス ル チ 得 а

ナ 得 但 シ 淸 蚁 政 承 合 除 1 外 專 地 ス **.**:1

ク

船舶

其

1

所有

者

1

何

人

ダ

ル

チ

۸٠,

ス

内

地

^

[ii]

ヶ

航

行

ス

ル

=

光

+

登

錄

第九

條

汽船

==

テ

曳

ク

=

チ

得

曳

カ

 ν

彷

1

船

舶

1

舵

手

及

乘

國

人

受 光緒 斻 拾 14 华 Эi. 月 及七 月 發 布 闪 水 路 通 规 圳 追 加 ゔ 右

第拾條 二月及七 規則 ---V ゔ 今 回 協 定 规 JUJ. === 依 议 ہر ラ 項 全 有 效 ゔ ۲ 改正 ス ス

旗 拾 μų 华 Βi. 月 及 七 月) 各 规则 ハ 仐 必 雙方 同意サ 以

明治參拾六年 コ チ 徘 拾月 八 即即

光緒武拾九年 八月 拾 八 日 1: 海 ۳. 於 ブ 之サ 作

ᇟ 仉 呂 小 田 延 宜 海 切 萬 芳 懷 之 86 助 盆 FI (EII) 防

<u>+</u>

附屬第 Til 议 號 --iX 陳 裄 條 約 地 第 水 意義 寥 航 Ξ. 11 4 通 ヴ 义 政 政 及 府 追 承 如 闪 加 河 规 ۲. 则 航 规 彷 JU <u>--</u> 依 = == >> 從 度 貿 條 ts 來誤 ル E 水 各 Π 本 等 避 各 ナ 以 4 义 ゔ 為ン總 清 受 國開 航行 煩ハ グ IJ

拾月八日

貴意

餱

治參拾六年

大日 衂 條 約改訂委員

Ш IJ 澌 辯 之

印

篮

EIJ

大清國條約改 伍 盛 宜 訂委員 懷 E 剧 割 下 下 下

延

涄

十五

園 ĵڼ) 參號

全 丸 康 太 閤 丸 候 Ţ. 丸 规 则 テ Iii [II] 御 成 1|1 從 本 П t. カ ·C 本 第 百 參條 丸 ---候 木委 所無 H 丸 蓬ע 報致 KIL 行 稅 碍 === 丸 委 渊 H 航 通 效 Ш 规 丸 瓊 则 湛 形 錦龍 各 ス 商 載量 丸 ŋ 議

方詞 氺 IJ 致 拜 貫 意候 敬

1:

ग

扱

フ

儿 月 八

大清國條約改訂委員

呂 盛 伍 宜 滩 延 實 懷 艻 쎎 防

大日 **木國條約改訂委員**

罚

征 閣

下

小 Π 切 μij 壽 之 助 牊

下

屬第 1/4

金徴 议 啓 1: 吏員 候陳 任 褙 命 光緒 == 貅 M ス IL 规定 ٨,]] 未 タ 盐 ク Ü 衍 水 4: ラ ν IL 肵 有之右 加 规则 ハ緊要 第 九條 46 項二付 金及釐

貴國政 府 3 各省 === 對 シ 右規定サ 嚴正 ---施行 ス ゔ 達相成 候 楪 致度因 デ貴委員

於 右請 米= ÃĴ. 相 成且貴答相 灯 度此段 御服 會 得貴意候敬具

明治參拾六年拾月 八日

大清國條

約改

訂委員

仉

延

艻

刚

滋

懷

閣

下 下 下

寰

本 阙條 約改訂委員

小 Ш IJ Ä,

П

141

兺 助 印

アジア歴史資料センター Japan Center for Asian Historical Records

十八

屬第五號

樣致度旨 第九條 以書 ハ緊要ノ 翰致啓) 41 御照會 稅 金及釐 項二 1: 候 陳 付 金徵 趣 貴國 者 致 水 領悉 政 收 \mathbb{H} 府 付 1 貴翰 寫 候右 3 ہر 各省 吏員 ナ 任命 デル緒 == > 對 = ハ > 本委員等ョ Jii 右規定サ嚴 ス IL 规定 1: 月發 Æ ハ ŋ 當該 未タ == 施 行 莁 官 ス ク 内 實行 地 ル 樣 水 對 重 路 セ 相 ラ 木 船航 ラ ·Ŋ· 處置 通 訓 ル 追加 達相 肵 有 成 之 規 候 右 則)· ス

光緒武拾九 45. 八月 拾 照

會致

御承

知

相

成度此段拜答得貴意候

敬

大清國條約改訂委員

涨 11i 呂 海 延 宜 艻 懷 鋖

防

大日 本國條 約改訂委員

 \Box

盆

捌

下

之 助 割 下

小

田

切

ijij,

뿵

第 六

以 便 = 書 **摥**處 條 ナ 官 = 民 對 ナ ハ 京 处 緇 居 ラ 規定 致 = = 住 理 ァ シ 充 > 及 承 シ シ L === ッ 公 ゔ 炊 該 n 據 ^ 處 ハ 嬔 チ 贈 ナ 陳 其 # 城 = = 内 償 旨 者 協) 居 ---ナ 定 嬔 定 移 支排 處 == ル 京 = 有 チ セ 居 次 於 ---開 ヮ ラ 者 ス Ľ 各 ゔ 設 ν **::**4 义 = 貴 館 國 候 ス 國 有 II. 共 3 護 人 我 m 丰 テ ル 其 之 1 衜 民 双 赁 ナ シ 移 候 Ŧ ナ ラ 兵 方 ノ 賞 ゔ 境界 右 及 ==) ス = 外 期 シ 通 希 住 有 國 劃 及 路 境界 望 合 之 民 ク 定 淵 K X 绺 護 候 候 ナ 及 其 肵 乜 業 衛 内 有 尤 ク 曫 右 [ii]ラ 剧 ノ 且 ŧ == 兵 塲 ス 然 シ ν 11.5 場 故 清 於 = 煺 **d**: チ ク ル タ = 肵 障 飒 3/ ナ ゔ 内 設 於 地 ル ÷ テ ·}· 以 ク ラ 豕 從 全 比 各 # 道 地 屋 ル 火 ゔ 置 然 1 蚁 路 Ţĵ _1 定 ハ 撤 商 IJŕ 及簪 其 私 橋 公 來 网 乜 回 民 ナ 不 官 城 ナ 契約 と 祭 =, 闪 /\ = 1: 规 満 城 ŋ· 各 =: 则 飒 ハ 必 外 國 ダ 抑 ナ ナ 官 ル 儀 價 要 ____ 悄 ス 廳二 家 ル 潍 **=***. ታ V 人居 尾 ル 强 宿 걘 IL 合 木 及 於 迫 **≥**⁄ 之 収 乜 條 住 1. = チ 右 ゔ 水水 約 於 之サ 地 序 ク 各 期 = 業 介 ゔ フ 図 不 國

煩ハ ナ = > 移 ケ H 軪 4 御同 ħ 乜 為 ∌. ĬĴ. ル ッ 省 ラ ハ 何 ٨ 八 =1 谷. 如 赔 ク 協 償 チ 定 希 ナ 望 V 要 置 氷 シ 俳 1 ス ŀ 3 ル ゔ ŀ 何 權 1 分 双 + Ţj カ 貴 <u>::</u>: ル 答 利 益 ÷ ウ 煩 7 候 木 ル **>**\ ナ 委 3/ 訓 度 員 此 等 ہر 奺 段 ハ 御 =: 將 貴委員等 腢 來 钶 不 得 必 要 貫 Ú. ナ 考量 候 IL 交涉 敬 IJ. ナ

大清 図 條 約 改 iiJ 委員 光緒

派 拾

儿

41:

月

H

盛 呂 仉 海 宜 延 簑 懷 芳 웲 防

大日 水 國條 約 改訂委員

置 征 閣

下

11

田 训 削 藩 之助 閣

下

小

儀 附屬第 官 ___ チ タ 潍 格 散 === 制 ス n 有 守 强 屋 塲 == 翰 之 逍 及 居 合 本 Ł ス 致 3 定 7i ナ 豕 啓 ル ゔ ---外 ク 川 地 屋 於 1: 溡 之 =:: 國 國 ナ フ 倉 テ 第 候 人 人 庫 陳者 ハ ル 對 民 官 チ 北 = 條 ハ 都 居 廳 ተ 建 京 本 == 住及 相 造 = П シ ナ ゔ = 承 在 定 付 當 L ク シ 營業 貴翰 摥 諸 該 公 炒 ゔ === テ 業 赔 處 處 平 内 ナ ナ ハ ^ 得 城 接 償 ---= ノ 收北京 塲 居 協 **場處** 旨 ナ = 住 支 處 **::** 定 Ŋî 定 外 移 ル 排 次第 ÷ == ス セ 於 =: 脊 開 ラ Ľ ス カ ラ 烻 各 义 **=**: ゔ ν 北 **7**i H 於 ス 館 國 则 之候 ゔ 我 護 ilii 移 賃 双 衠 R ナ チ ハ ÷ 貨 幒 7i Ħ 灰 ゔ 及 居 方 1 -: = ス 住 通 腿 國 役 有 希 住 劃 及營 定 場 民 望. 境界 路 人 之 合 K 2 及 護 肵 乜 ŀ ナ 候 -:: 曫 有 尤 内 衠 業 [ii] ラ 11 祭 兵 A シ ス æ === 1 ν 於 ---.... ダ ナ 1 IL 於 圳 設 ナ シ ゔ ナ ゔ. 水 要 ゔ ク 決定セ 尾 道 シ 比 各 全 没 IL ゔ 然 置 方 路 A 清 _ ٧, 公 及 橋 其 私 们 ス ラ 官 酱 有 民 チ 祭 *)*\ 契 == 清 圏 城外 规 約 **:** ∌. ノ t 必 圳 國 ル м ス 地

七

二協定七 不必要す 約第 交涉 煩 闪 條 ナ 大體 ハ ノ規定ニ 移 规则 A. == 御 せ 御同 に 削記 協 = **总** 致 議 木 何 邦 等 圳 上滿足二 **≥**⁄ .71 X. 不 協定 利 :} 償 希望ス ÷J. 要 収極 之候 求 ス ス 徘 ル ク īij 洪之二 ⊐ 力 候 丿 双力 會 差別 t 1i ス 趣致閱悉候石貴翰二 -: 11 则 2 候本委員 12. 规则 ナ認 ン姓二貴 其 ノ時 外 記載 將 國 儀 =1

有之候此段拜答得 貴意候敬

其

明治察拾六年 月八

大川 木 條約改 il 委員

小 田 IJ įŸ, 2 助

調

11

大清國條約改

訂委員

盤

氜

懷

閣

下下下

昌

實

閣

伍

延

沜

겜

釜 EIJ)

明治子六十二月一日有五多坊城

熟檢シタルニ善ク联ノ意三通シ間然スル所ナ 員下清國全權委員下ノ間三記名調印シタル 追加日清通商稅海條約,各條目ヲ親シク關覽 記名調印シタル議定書第十一條ノ規定三基キ 明治三十六年十月八日上海二於三帝國全權委 外十箇國全權委員上清國全權委員上人間五 联明的三十四年九月七日清國北京 於子帝國 日本國皇帝(御名)此書ラ見ル有衆三宜示人 天佑ラ保有シ萬世一系ノ帝祚ラ践をタル大 批准案



中

日

通

商

行

船

條

約

續

約

六年 シ重ヲ野セシム 神武天皇即位紀元二千五百六十三年明治三十 キョ以テ右條約ョ嘉納就准又 月 日東京宮城、於テ親カラ名ラ署

國重

外務大臣男爵小村壽太郎

大皇帝陛下

大日本國

條款第十一條所定之事實辦見效起見商定通商行船條約續約以期中日兩國通商事宜大皇帝陛下為將光緒二十七年七月二十五日即明治三十四年九月初七日在北京簽定議定

緣此簡易振興是以

大清國

大皇帝陛下

欽 差 辦 理 商 約 事 務 大 臣 工 部 尚 背欽差辦理商約事務大臣太子少保前工部左侍郎 I. 伍 呂 盛 延 海 宣 芳 簑 愎

約 3]]; 務大 Æ 部 ŹĖ

大日本國

大皇帝陛下

飲差全權辦理商約事務大臣總領事正六位勳五等 飲差全權辦理商約事務大臣公使館頭等零營官從五位勳五等 B 小田切萬壽之助 H 益

アジア歴史資料センター Japan Center for Asian Historical Records

爲全 大 臣 各 將 所 奉 全 權 文 憑 較 閱 俱 屬妥善 會. [ii]議 定各 條 開 刎 於 Ţr.

第 一 款

所 因 款 H 木 H 之商 國政 銷 塲 政 務 擬 暨利 府 廠以 允 欲 認 權 照 及 按 較 征 雁 他 海 図 葯 ц 陸 鹽斤 义 商 各 與 有 筡 肵 暨 約 利 稅 亦 各 百 悉 國 货 致 共 M 2 宿 间 各 Æ. 國 萷 稅 定 之處 與 外 加 t[1 5 稅 國 145 之率 商 加 定辦 稅 ---以 律 啊 法 腢 無 補 稍 輸 M 歧 無 全 異 災 1T 並 肵 裁 有 不 釐

第二款

設 之件 議 國 定 國 卅 不 Ж 家允 得 軰 辦 Ħ 地方 理 礙 木 輪船 水 Ħ 道 姓 業 或 阻 應 \pm 顣 礙 Ĥ 候 民 行 海 船 出 翻 貧 行 核 在 准 長 蚁 後 71. 阳 始 磓 íï. 行 江 昌 變陸 安 奎 設 重 路 無 慶 論民 行 人 船 水 輸船 道 有 施 切 均 設 Ħ 辦 扯 法 任 1: 湍 115 便 驗 瀨 須 迎 之 件 但 M 海 所

第 三 款

家允 M 能走內 定 īE. 橮 港之日 各 ij. 程 辦理 本 各 項 輸 船 在 海關 報 IJJ H 通 萷 П 岸 往 來報明之內港 地 方 貿

第四四

國公 照 國 其 党 民 Ĥ 议 颠 合 即 FI 间 木 軰 令 臣 民 國 爲 辦 人 理 民 並 ĭΕ 將 願 經 其 按 4 Ħ 業 分 合 闪 本 當 公 股 為之事 常 經 绺 解 釋 或 該 合 照 辨 合 合 [ii] 间 公 寬 训 赏 程 應 之辨 辨 雁 I 其 法 合 倘 间 不 常 腢 程 辦 損 앷 盆 被 公 挫 任 告

H 本 Fi. 戊 興 th: 國 V 戊 合 股 經 炒 哎 合 公 īi] 亦 應 M 其 合)'i 程 損 徭 公 任: 倘 有 不 守 介 [11]

程 分 內 出 為之事 H 木 公 常 亦 須 飭 介 ----律 理

第五款

飒 國 家 允 定 育 程 以 цı 國 人 民 F П 木 E 比 肵 執 掛 號 商 牌 有 礙 利 徭 肵 有 滰 程 必

須切實照行

木 Į;į 戊 特 為 蚁 起 見 國 文 꽘 15 籍 以 及 地 圖 海 圖 執 11 [4] 鸖 之權 亦 允

由中國國家定一章程一律保護以免利益受虧

飒 國 家 允 設 劜 ili: 册 局 所 凡外 國 商牌 並 1:11 # 之權 靜 H 1/1 國 國 水 保 護 者 須 潍 M 來 1 1

肵 定 Z 保 頀 南 牌 及 Ell 書 之權 各 淮 程 Æ 該 周 Fif äŧ. 册

亦 允 護 th. 人 民 按 M H 本 律 例 äE 册 之商 牌 及 [4] 書 之 權 以 兇 在 \Box 水 H 川

之弊

儿

木 [ii K 或 th 國 人 民 爲 <u>:</u>||} 籍報 紙等件之主筆 蚁 業主 蚁 赕 售 之人 如 各該 有 1/1 國

治 安者 不 得 以 此 款邀兇應各 按律 例 懲 辦

六

th 此 商 來 國 明凡 t|a 允 H 願自 納關稅仍 M 國人民 行從 以關 即 速 在 改 平 定 цı 國境內 核 ----律 計 爲 通 潍 遊 用 川 2 以完 或 幣將全國 納 谷 項 貨幣 稅 課 及 別 儲畫 項 往 ----即 來 以 此 款 爲合 毫 無 窒礙 例之國 惟

礙 國 應 因 從 由 各 通商 各 省 省督 市 П 肆 岸辦 撫自 商民 起以漸 行 肵 體 用 察 度 推廣內 時勢 量 權 情 衡 形會 零差 地 惟 將 वि 不 而定畫一程 來 一並 新 定之 不 湴 度量權 雁 式各 部 定 衡與現 省 程 官 式 民 於 行 出 之度 入 外 ----量 民 權 無 貿 衡有 異 易 爽 不 所 明

差

或

豧

或

照數

核算

以

昭平

允

補 光緒二十 載此約 四年 惟此章程 Ħî. 月 七月先後 應按照遵行 所 訂 內 直至日 港行 後彼此允願更改 輪 章: 程 間有 未 便 爲止 是 以 th 允 將 此 章 程 矿 修

國 现 存 各 條約及 Wi 國 約定事 項 未 經 区 沈 本條 約 更改或廢除 者 11 僑 M 行 不違 妓

揱 且 大 H 本 國 政 府 官 員 臣 比 通 剂 行 船 轉巡工 塾 以 及所 有 ----IJ 財產應享

大清

大 皇帝陛 下 政 豁 府 各 省 或 地 方 論 各 其 官 现 府 린 允 允與或 與 别 國 粉來 政 府 允 官 與 員 ----扫 惯 戊 均 通 Ŋ. 南 完全 行 船 無 轉 觖 巡 I. 藝 以 及 財産

之 切 例 除 及 利益 無

國 官 員 I 蕳 人 民之在 H 木 者 H 本 國 政 府 亦 必 按 照 律 法 軰 程 極力 通融 優 待

開 在 通 萷 國 場其 定 如 詳 駐紮 綳 竜 直 程 臨 線 時 省 商 之 各 酌 訂 國兵 定 隊 暨 各 衂 護 館 兵 陱 ---律 撤 退 後 ıþι 國 即 當 在 北京

之長沙 國允 府 願 俟水 開 作 通 H 附 肵 口 副 畫押之中日 岸與已開各 通商 通商 П 行 岸 船 無異 條 約 各國 續 約 人 批 民 准 在 $J\bar{L}$ 該 换 通 後 萷 六 П 箇 岸 月 居 以 住 闪 者 將 須 遵 南 守 省

處工 同 及 巡 捕章 程 與 居 住 各 該 處之 華 民 無 異 非 得 華 官 允 准 不 能 在 該 通 商 口 岸 2

内 自 部 及巡

國 國 政 府 應允 通 商 俟 此 此 約批 W 處 通商場訂定外國人公共居住合宜 准互 换 後 將 盛京 省 之奉天府 叉盛京 地界並 不省之大 人東溝兩 切 $j_{ij}^{\prime\prime}$. 程 嬔 將 來 地 方 由 th 曲 H t|1

Mi 國 府 曾 商

中國深欲整頓本國律例以期與東西各國律例改同一律日本國尤願盡力協助以成此舉 一俟查悉中國律例情形及其審斷辦法及一切相關事宜皆臻妥善日本國即允棄其治外

法權

+-___

本條約繕就漢文日本文英文署名為定惟為防以後有所辯論起見兩國全權大臣訂 如

将來漢文與日本文有參差不符均以英文為準

第 =

本條約應泰

大皇帝陛下 大清國

大日本國

大皇帝陛下批准既經批准後在北京迅速互換其互換日期由本日署名起至遲不逾六個月為

此兩國全權大臣署名蓋印以昭信守

大清國 欽 欽 差辨 差 理 商 約事務大臣太子少保前工部左侍郎 理 商 約 भुर 務 大 臣 工 部 呂 盛 海 花押 花押

差 理 商 約事務大臣 商 部 Źř. 侍 耶 伍 廷 芳 花押

欽差全權辦理商約事務大臣公使館頭等參賛官從五位勳五等 Ħ 置 花押

花押

大日本國 飲差全權辦理商約事務大臣總領事正宍位勳五等 小田切萬審之助

光緒二十九年八月十八日 訂於上海

明治三十六年十月初八日

行 軰

亦 從 東 新 再 可 議 间 倘 t 1 H 國 商 人 不 民 能 **Æ** [ñ] 河 華 道 民安 W 租 租 檖 房 房 及 及 碼 碼 頭 須 不 由 地 方 Τi. 官 經 總 租 期 巡 如 撫 彼 商 此 144 務 大 願

商 安 照 公 値 預 備 檖 房 頭 租 給 租 滿 之 後 ग 挨 租

碼 頭 不 阻 水 道 亦 不 硟 隻 M 行 並 H 近 海 兆 行 查 允 准 伹 亦 不

故 駮 阻

----四 只 傷 本 能 國 以 及 図 他 内 人 項 港 配 蚁 共 沙 因 行 租 傷 駛 理 受 2 Ü. 人 房 輪 及 情 虧 及 辦 形 小 ---會 IJ 不 4 如 等 赔 11 X 木 償 損 人 業 傷 此 在 隄 於 該 官 **:** 岸 H 如 内 查 1i 或 蚁 洳 叨 淺 各 [ú] 1r 實 水 項 來 Τ. his 管 處 程 []j 轄 道 肵 華 租 硟 恐 應 jį 即 X 民 檖 之權 成 衍 行 房 該 輸 稍 闪 议 輪 ıŀ. 船 傷 有 11 隄岸 將 減 輪 化 罚 該 宿 煶 駛 以 蚁 及 岸 該 有 相 T. 所 河 連 程 但 \hi 芝 查 礙 亦 田 倸 Īij 褙

Ji. 小 至 輪 駛 者 细 不 趟 河 有 爲 之 煺 利 輪

内 道 之 H ini 該 船 業主 允 願將輪 船轉 Ħ 與華 人公 ïï] 及 掛 ф 國 旗

不

有 誰 깘 îî] m 有 11 本 人 附 股 褙 不 得 因 該 公司 有 H

商 股 任 内 遂 以 爲 該 公 $\tilde{i}\tilde{i}$ 船 即 准 木 旗

凡

駛

船

該

輪

Z

均

不

奖

迎

如

有

民 间 不 准 装 迎違 水水 貨物 行 闪 港 内 港

照 違 林八 滨 Fii 誰 銷 Ŋŕ 給 뤪 牌 不 行 駛

七

六

之 港 行 便 並 風 氣 未 闪 地 龙 居 有 民 利 宜 ij 令 北 少 受 īij 悠 擾 故 凡 内 如 有 港 褙 人 [ii]有 未 ĬĴ. 經 於 輪 裆 船 船 行 未 駛 經 者 到 須 2 内 港

設 輪 彷 駛 須 光 [íi] 最 近 \Box 岸 大 Į. 會 [ii] 該 省 督 撫 終 憜 形 迅

准

八 項 並 船 准 准 報 IJj 口 海 岸 뢺 内 在 行 11 蚁 途 此 H 次 通 肵 商 經 此 買 易 主 各 通 $\mathfrak{H}_{\mathbf{i}}$ 商 Ŀ 下 答 蚁 貨 H 佃 非 春 主 1 1 闪 國 地 並 政 府 允 該 准 内 不 地 處 得 駛 曲

萷 岸 Z 内 地 E 彼 不 通 商 口 岸 之船 之内 圳 隻 卅 北 行 船 往 17 水 來 人 民 充當

人 均 掛 號 方 准 曲 口 岸 行 内 港 九

哎

貨

坞

輪

帶

被

拖

手

今

均

不

ル

以上章程係 補續光緒二十 四年 Æ. 月七 月前後 所訂 內港行輪之章程其未經此次所訂 更

改者則仍舊照行

+

此次之章程及光緒二十 114 华 前 後所訂之章程 倘有 應 行修改之處 即 ग 彼 此酌 情商

定

大清國光緒二十 儿 华 八 月 八 \mathbf{H}

> 呂 盛 海 宣 花 花 押 押

伍 廷 窶 花押

置 益 花押

H

大日 本 國明治三十六年 月 初 八日

小 田 切萬審之助 花押

件第二係附第三款之一

商商 約約 大大

大 得此次議定條約第三款載中 臣臣 小日 田 切置

爲

允能走內港之日本各項輪船在海關報明 曲 通 商 口 岸 往 走內港 來報明 為準 之內 項能走內港之 貿易應悉

所定正 續章程辦 理等語日本各項輪船無論大小只以能 來往

Ħ 本各輪船均可照章 領牌 往 來 内 國不 得 ıŀ. 此 等 本大臣為預

將來議論起見照 會

大臣

查照

即請轉飭總稅務

 \overline{n}

遊辨

並請

照

復

ŋ

須至

服

辦辦辦 理理理 商商商

約約約 大大大 臣臣臣

伍呂盛 會

明治三十六年 月 初 八日 大

淸

欽

差

4.

爲

附件第三條附第三款之二

辦辦辦

大

淸

商商商 約約約 大大大 哥哥哥

光緒二十九年八月十八日准 理理理 伍呂盛

前與

內港

為準

均可

照章領牌

往來內港中國不

得籍詞

禁止

為預防將來議論起見等

大臣照

會聲明此次議定條約第三款內

載能

走內港之日

各輪船

融論起見等因查本大加無論大小只以能走

41

M

得

貴大臣 會議 款時 准

貴大臣 開 迭 淸 單 有

丸肱川 至四 百 丸永田 + 總稅務 日 九共同 间 山 陽丸 司行查各關 往 來 쎘 丸蓬萊丸貫效丸 瀨 臺東三省各 丸 成案 H 向 內港領 浦 瓊港丸錦龍 一並復准 有關 丸甯 牌進照 丸全 勝丸康 安丸 內港章程辦理不在禁止之列 太 《不丸載重 閣丸吉野 丸 一 百 二 十 一 明 光丸福壽

部轉行總稅 務司

查酌辦

理 可

照覆

大 日 右 光緒二十九年八月十八日 本 欽 差 辦辦 理理 R 約約 大大

田 切置 覆

语语

小日

八款之

辦辦 理理 商商 約約 大大 BE 小日 田 切置

大

曾事查得光緒二十四年七月所定補續章程第九款派員統收稅 釐各辦法現在尚有未

盡照辦之處應請由

費國政府再行通飭 各省 體服 章辦理實 為切要為此備文照請

貴大臣核允並即見覆為盼須至 會

明治三十六年十 月初八 \square

大

差 辦辦辦

理理理 商商商

田田田 伍呂盛 會

約約約 大大大

件

理理理 商商商

大

約約約 大大大 臣臣臣 伍呂盛

大臣照會內開查得光緒二十四年七月 覆事接准明治三十六年十月初八日 所定補 通飭 各省一 續章程第九款派員統收稅釐各辦法現 體照章辦理實為切要等因准此

大臣均已閱悉除咨行辦理外相應照覆 倘有未盡照辦之處應請由貴國政府再行

貴 大 查照可 須至照覆者

辦辦 理理 約約 大大

大

臣臣

小日 田

切置 覆

光緒二十九年八月十八日

北

第 + 款

附件第六係附

清 理理理 商商商 約約約 大大大 超超超 伍呂盛

大

兵隊 ĮĮ. 律全行撤退後於北京內城之外擇彼此相 有 在北京 開設通商場一事按照通商行船 茁 並 條約續約第 國商 館

在北京通商場 人居住貿易之所界 租 不 公平商 能 內居 者須遊 價不得 力 准 部局及巡捕自定界 1各國商-抑勒强迫所 致漫 有道路 地造屋 局及巡捕 稽考 開設行棧店 所有 竃 民房地 房 公同 民 定 居 内 Œ R

貿屬兩便之舉為此 備文照請

值其選

移入界

臨時酌定若逾限不

選即不給價

定辦

則庶免臨

會者

大臣核允並希見覆可也須至照

會

切置

光緒二十九年 辦辦 八月 理理 + 商商 П

大

H

木

欽

約約 大大 臣臣 小目 田

十七

件第七係附第

商商 大大 臣臣 小目 田

切置

大

覆事接准光緒二十九 北京 八月 (通商場 十八 Ħ 通 如 谷

±: 護路 情 兵 人 居住貿易之所界 者 公 平 不 Ŋŕ 道 路橋 屋 Ή. 均 定 經

商民 通 須 巡捕 定界開辦 局及巡捕 商 民之散 民 無

定者 致漫無 限不選即不給 價似此預定辦法 民房 庶発

文服請

來文 内 開 各 简 大致 均 ij 照辨 主. 詳 綳 章 É 相

岐 災 致 有 [ń] 犐

通 條約 款 iT 臨 時 萷 酌 安定惟不得 颠 別

商商商 約約約 大大大

大

差

辦辦辦

理理理

明治三十六年

月

八 H 貴大臣

查照須至

服復

者

應照

復

右

臣臣臣

伍呂盛 復



SUPPLEMENTARY TREATY

OF

COMMERCE AND NAVIGATION

BETWEEN

JAPAN AND CHINA.

His Majesty the Emperor of Japan and His Majesty the Emperor of China, in order to give full effect to the provisions of Article XI of the Final Protocol signed at Peking on the seventh day of the ninth month of the thirty-fourth year of Meiji, corresponding to the twenty-fifth day of the seventh moon of the twenty-seventh year of Kuang-hsü, have resolved to conclude a Supplementary Treaty of Commerce and Navigation, designed to facilitate and promote the commercial relations between Japan and China, and have for that purpose named as Their Plenipotentiaries, that is to say:

His Majesty the Emperor of Japan, Hioki Eki, Jugoi, Fifth Class of the Imperial Order of the Rising Sun, First Secretary of Legation, and Odagiri Masnoske, Shorokui, Fifth Class of the Imperial Order of the Rising Sun, Consul-General;

And His Majesty the Emperor of China, Lü Hai-huan, President of the Board of Public Works, Shèng Hsüan-huai, Junior Guardian of the Heir Apparent, formerly Senior Vice-President of the Board of Public Works, and Wu Ting-fang, Senior Vice-President of the Board of Commerce:

Who, after having communicated to each other their Full Powers found to be in good and due form, have agreed upon and concluded the following Articles:—

ARTICLE I.

Whereas China, with the object of reforming its fiscal system, proposes to levy a surtax in excess of the tariff rates on all gools passing through the Custom Houses, whether maritime or inland and frontier, in order to compensate in a measure for the loss incurred by the complete abolition of likin, Japan consents to pay the same surtax as is agreed upon between China and all the Treaty Powers. With regard to the production tax, consumption tax and excise, and the taxes on native opium and salt, leviable by China, Japan also consents to accept the same arrangements as are agreed upon between all the Treaty Powers and China. It is understood however that the commerce, rights and privileges of Japan shall not, on account of the above, be placed at any disadvantage as compared with the commerce, rights and privileges of other Powers.

ARTICLE II.

The Chinese Government agree to permit Japanese steamship-owners to erect, at their own expense, appliances for hauling through the rapids of that part of the Yang-tze-kiang between Ichang and Chungking. But as the interests of the population of the provinces of Szechuen, Hunan and Hupeh are involved, it is therefore necessary that the approval of the Imperial Maritime Customs be obtained before such appliances may be so erected.

These appliances, which shall be at the disposal of the vess is both steamers and junks, shall not obstruct the waterway nor interfere with the free passage of junks or of persons on the banks of the river. Such appliances shall be subject to special regulations to be drawn up by the Imperial Maritime Customs.

ARTICLE III.

The Chinese Government agree that any Japanese steamer capable of navigating the inland waterways, upon reporting at the Imperial Maritime Customs, may proceed for the purpose of trade from a treaty port to places inland, so reported, on complying with the Original and Supplementary Regulations for Steam Navigation Inland.

ARTICLE IV.

In case Chinese subjects conjointly with Japanese subjects organise a partnership or company for a legitimate purpose, they shall equitably share the profits and losses with all the members according to the terms of the agreement or memorandum and articles of association and the regulations framed thereunder, and they shall be liable to the fulfilment of the obligations imposed by the said agreement or memorandum and articles of association and the regulations framed thereunder as accepted by them and as interpreted by Japanese Courts. Should they fail to fulfil the obligations so imposed and legal action be taken against them in consequence, Chinese Courts shall at once enforce fulfilment of such obligations.

It is understood that in case Japanese subjects conjointly with Chinese subjects organise a partnership or company, they shall also equitably share the profits and losses with all the members according to the terms of the agreement or memorandum and articles of association and the regulations framed thereunder. Should such Japanese subjects fail to fulfil any of the obligations imposed by the said agreement or memorandum and articles of association or by the regulations framed thereunder, Japanese Courts shall in like manner at once enforce fulfilment of such obligations by them.

ARTICLE V.

The Chinese Government agree to make and faithfully enforce such regulations as are necessary for preventing Chinese subjects from infringing registered trade-marks held by Japanese subjects.

The Chinese Government likewise agree to make such regulations as are necessary for affording protection to registered copyrights held by Japanese subjects in the books, pamphlets, maps and charts written in the Chinese language and specially prepared for the use of Chinese people.

It is further agreed that the Chinese Government shall establish registration offices where foreign trade-marks and copyrights, upon application for the protection of the Chinese Government, shall be registered in accordance with the provisions of the regulations to be hereafter framed by the Chinese Government for the purpose of protecting trade-marks and copyrights.

It is understood that Chinese trade-marks and copyrights properly registered according to the provisions of the laws and regulations of Japan will receive similar protection against infringement in Japan.

This Article shall not be held to protect against due process of law any Japanese or Chinese subject who may be the author, proprietor or seller of any publication calculated to injure the well-being of China.

ARTICLE VI.

China agrees to establish itself, as soon as possible, a system of uniform national coinage and provide for a uniform national currency which shall be freely used as legal tender in payment of all duties, taxes and other obligations by Japanese subjects as well as by Chinese subjects in the Chinese Empire. It is understood, however, that all Customs duties shall continue to be calculated and paid on the basis of the Haikwan tael.

ARTICLE VII.

As the weights and measures used by the mercantile and other classes for general and commercial purposes in the different provinces of China vary and do not accord with the standards fixed by the Imperial Government Boards, thus resulting in detriment to the trade of Chinese and foreigners, the Governors General and Governors of all the provinces, after careful inquiry into existing conditions, shall consult together and fix upon uniform standards which, after a Memorial to the Throne for sanction, shall be adopted and used in all transactions by officials and people throughout all the Empire. These standards shall be first used in the places opened to foreign trade and gradually extended to inland places. Any differences resulting from divergence between the new weights and measures and those now in vogue shall be equitably settled, whether by way of increase or decrease, according to the amount of such difference.

ARTICLE VIII.

The Regulations for Steam Navigation Inland of the fifth moon of the twenty-fourth year of Kuang-nsü and the Supplementary Bules of the seventh moon of the same year

having been found in some respects inconvenient in working, the Chinese Government hereby agree to amend them and to annex such new Rules to this Treaty.

These Rules shall remain in force until altered by mutual consent.

ARTICLE IX.

The provisions of all treaties and engagements now subsisting between Japan and China, in so far as they are not modified or repealed by this Act, are hereby confirmed; and it is hereby expressly stipulated in addition that the Japanese Government, Officers, Subjects, Commerce, Navigation, Shipping, Industries and Property of all kinds shall be allowed free and full participation in all privileges, immunities and advantages which have been or may hereafter be granted by His Majesty the Emperor of China or by the Chinese Government or by the Provincial or Local Administrations of China to the Government, Officers, Subjects, Commerce, Navigation, Shipping, Industries or Property of any other nation.

The Japanese Government will do its utmost to secure to Chinese Officers and Subjects resident in Japan the most favourable treatment compatible with the laws and regulations of the Empire.

ARTICLE X.

The High Contracting Parties hereto agree that, in case of and after the complete withdrawal of the foreign troops stationed in the province of Chibli and of the Legation guards, a place of international residence and trade in Peking will be forthwith opened by China itself. The detailed regulations relating thereto shall be settled in due time after consultation.

The Chinese Government agree to open to foreign trade, within six months from the exchange of the Ratifications of this Treaty, Changsha-fu in the province of Hunan on the same footing as the ports already opened to foreign trade. Foreigners residing in this open port are to observe the Municipal and Police Regulations on the same footing as Chinese residents, and they are not to be entitled to establish a Municipality and Police of their own within the limits of this treaty port, except with the consent of the Chinese authorities.

The Chinese Government agree that, upon the exchange of the Ratifications of this Treaty, Mukden and Tatungkow, both in the province of Shengking, will be opened by China itself as places of international residence and trade. The selection of suitable localities to be set apart for international use and occupation and the regulations for these places set apart for foreign residence and trade shall be agreed upon by the Governments of Japan and China after consultation together.

ARTICLE XI.

The Government of China having expressed a strong desire to reform its judicial system and to bring it into accord with that of Japan and Western nations, Japan agrees to give every assistance to such reform, and will also be prepared to relinquish its extra-territorial rights when

satisfied that the state of the Chinese laws, the arrangements for their administration and other considerations warrant it in so doing.

ARTICLE XII.

The present Treaty is signed in the Japanese, Chinese and English languages. In order, however, to prevent future discussions, the Plenipotentiaries of the High Contracting Parties have agreed that in case of any divergence in the interpretation between the Japanese and Chinese Texts of the Treaty, the difference shall be settled by reference to the English Text.

ARTICLE XIII.

The present Treaty shall be ratified by His Majesty the Emperor of Japan and His Majesty the Emperor of China, and the Ratifications thereof shall be exchanged at Peking as soon as possible and not later than six months from the present date.

In witness whereof the respective Plenipotentiaries have signed the same and have affixed thereto the seals of their arms.

Done at Shanghai this eighth day of the tenth month of the thirty-sixth year of Meiji, corresponding to the eighteenth day of the eighth moon of the twenty-ninth year of Kuma-nst.

[L.S.] HIOKI EKI.

(L.S.) ODAGIRI MASNOSKE.

Signature of
His Excellency
LÜ HAI-HUAN.

Signature of
His Excellency
SHÊNG HSÜAN-HUAI

Signature of
His Excellency
WU TYNG-FANG.

ANNEX 1.

INLAND WATERS STEAM NAVIGATION.

ADDITIONAL RULES.

1.—Japanese steamship-owners are at liberty to lease warehouses and jetties on the banks of waterways from Chinese subjects for a term not exceeding twenty-five years, with option of renewal on terms to be mutually arranged. In cases where Japanese merchants are unable to secure warehouses and jetties from Chinese subjects on satisfactory terms, the local officials, after consultation with the Governor or Governor General or Minister of Commerce, shall arrange to provide these on renewable lease, as above mentioned, at current equitable rates.

2.—Jetties shall only be erected in such positions that they will not obstruct the inland waterway or interfere with navigation, and with the sanction of the nearest Commissioner of Customs; such sanction, however, shall not be arbitrarily withheld.

3.—Japanese merchants shall pay taxes and contributions on these warehouses and jettles on the same footing as Chinese proprietors of similar properties in the neighbourhood. Japanese merchants may only employ Chinese agents and staff to reside in warehouses so leased at places touched at by steamers engaged in inland traffic to carry on their business; but Japanese merchants may visit these places from time to time to look after their affairs. The existing rights of Chinese jurisdiction over Chinese subjects shall not by reason of this chause be diminished or interfered with in any way.

4.—Steam vessels navigating the inland waterways of China shall be responsible for loss caused to riparian proprietors by damage which they may do to the banks or works on them, and for the loss which may be caused by such damage.

In the event of China desiring to prohibit the use of some particular shallow waterway by launches, because there is reason to fear that the use of it by them would be likely to injure the banks and cause damage to the adjoining country, the Japanese authorities, when appealed to, shall, if satisfied of the validity of the objection, prohibit the use of that waterway by Japanese launches, provided that Chinese launches are also prohibited from using it.

Both Foreign and Chinese launches are prohibited from crossing dams and weirs at present in existence on inland waterways where they are likely to cause injury to such works, which would be detrimental to the water service of the local people.

5.—The main object of the Japanese Government in desiring to see the inland water-ways of China opened to steam navigation being to afford facilities for the rapid transport of both foreign and native merchandise, they undertake to offer no impediment to the transfer to a Chinese company and the Chinese flag of any Japanese steamer which may now or hereafter be employed on the inland waters of China, should the owner be willing to make the transfer.

In the event of a Chinese company registered under Chinese law being formed to run steamers on the inland waters of China, the fact of Japanese subjects holding shares in such a company shall not entitle the steamers to fly the Japanese flag.

6.—Registered steamers and their tows are forbidden, just as junks have always been forbidden, to carry contraband goods. Infraction of this rule will entail the penalties prescribed in the treaties for such an offence, and cancellation of the Inland Waters Navigation Certificate carried by the vessels, which will be prohibited from thereafter plying on inland waters.

7.—As it is desirable that the people living inland should be disturbed as little as possible by the advent of steam vessels to which they are not accustomed, inland waters not hitherto frequented by steamers shall be opened as gradually as may be convenient to merchants and only as the owners of steamers may see prospect of remunerative trade.

In cases where it is intended to run steam vessels on waterways on which such vessels have not hitherto run, intimation shall be made to the Commissioner of Customs at the nearest open port, who shall report the matter to the Ministers of Commerce. The latter, in conjunction with the Governor General or Governor of the province, after careful consideration of all the circumstances of the case, shall at once give their approval.

8.—A registered steamer may ply within the waters of a port, or from one open port or ports to another open port or ports, or from one open port or ports to places inland, and thence back to such port or ports. She may, on making due report to the Customs, land or ship passengers or cargo at any recognised places of trade passel in the course of the voyage; but may not ply between inland places exclusively except with the consent of the Chinese Government.

9.—Any cargo and passenger boats may be towed by steamers. The helmsman and crew of any boat towed shall be Chinese. All boats, irrespective of ownership, must be registered before they can proceed inland.

10.—The above Rules are supplementary to the Regulations published in the fifth and seventh moons of the twenty-fourth year of Kuang-nsë, which remain in full force and effect in so far as they are not modified by the Rules now agreed upon.

The present Rules and the Regulations of the fifth and seventh moons of the twenty-fourth years of Kuang-hsu may hereafter be modified, as circumstances require, by mutual consent.

Done at Shanghai this eighth day of the tenth month of the thirty-sixth year of Menn, corresponding to the eighteenth day of the eighth moon of the twenty-ninth year of Kuang-nst.

(L.S.) HIOKI EKI.

(L.S.) ODAGIRI MASNOSKE.

Signature of His Excellency Wt Ting-fang. Signature of His Excellency SHENG HSTAN-HUAI Signature of His Excellency Lü Hal-Huan.

ANNEX 2.

IMPERIAL JAPANESE COMMISSIONERS FOR TREATY REVISION to
IMPERIAL CHINESE COMMISSIONERS FOR TREATY REVISION.

SHANGHAL the 8th Day of the 10th Month of the 36th Year of MEIJL.

GENTLEMEN,

According to Article III of the present Treaty the Chinese Government agree that any Japanese steamer capable of navigating the Inland Waterways, upon reporting at the Imperial Muritime Customs, may proceed for the purpose of trade from a treaty port to places inland, so reported, on complying with the Original and Supplementary Regulations for Steam Navigation Inland.

It is understood that all classes of Japanese steamers, whatever their size, provided they are capable of navigating the Inland Waterways, may on complying with the Regulations receive an Inland Waters Certificate and carry on trade with inland places, and the Chinese Government will in no case raise difficulties and stop such steamers from plying to and from inland places.

We have the honour, in order to prevent future misunderstandings, to address this despatch to Your Excellencies and to request that instructions be sent to the Inspector General of Muritime Customs to act in accordance with this understanding. We have further the honour to request a reply from Your Excellencies.

We have the honour to be,

Gentlemen,

Your obedient Servants,

(Signed) HIOKI EKI.

(Signed) ODAGIRI MASNOSKE.

Their Excellencies

LÜ HAI-HUAN, SHÊNG HSÜAN-HUAI, WU T'ING-FANG,

His Imperial Chinese Majesty's Commissioners for Treaty Revision.

ANNEX 3.

Imperial Chinese Commissioners for Treaty Revision to

IMPERIAL JAPANESE COMMISSIONERS FOR TREATY REVISION.

SHANGTAI, the 18th Day of the 8th Moon of the 29th Year of KUANG-HSÜ.

GENTLEMEN,

WE have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellencies' despatch of this date, written with a view of preventing future misunderstandings, to the effect that, in accordance with the provisions of Article III of the present Treaty, all classes of Japanese steamers, whatever their size, provided they are capable of navigating the Inland Waterways, may on complying with the Regulations receive an Inland Waters Certificate and ply to and from inland places, and that the Chinese Government will in no case raise difficulties and stop them.

During the negotiations of this Article, we received a list from Your Excellencies of the Japanese steamers—viz.: Sanyo Maru, Setagawa Maru, Hinga Maru, Urato Maru, Neisei Maru, Heian Maru, Taiko Maru, Yoshino Maru, Meiko Maru, Fukuju Maru, Hijikawa Maru, Nagata Maru, Kyodo Maru, Horai Maru, Kwanko Maru, Keiko Maru, Kinriu Maru, Zensho Maru and Kohei Maru, ranging from one hundred and twenty-one tons to four hundred and ten tons register—plying from Chefoo to inland places in Manchuria, under Inland Waters Certificate and in accordance with the Regulations for Steam Navigation Inland, which vessels have not been prevented from doing so on account of their class.

At that time we instructed the Deputy Inspector General of Customs to make inquiries into the records of the Custom Houses, and he reported that the circumstances were in accordance with Your Excellencies' statement.

In consequence of the receipt of Your Excellencies' despatch we shall communicate with the Wai-wu Pu and request that instructions be sent to the Inspector General of Customs to take these circumstances into consideration and to act accordingly, and we have the honour to write this despatch for purposes of record.

We have the honour to be,

Gentlemen,

Your obedient Servants,

CANCEL CONTRACTOR OF CONTRACTO	$\bar{\mathbf{x}}$	
₩ _c	Sig His	His Le
gnature Excelle T'incer	H 75 3	gnatur Excel
nature of Excellency	ature of Excellenc	vi-HUAN.
NG.	HC71	× 'g ,

Their Excellencies

Hioki Eki,
Odagiri Masnoske,
His Imperial Japanese Majesty's Commissioners for Treaty Revision.

ANNEX 4.

Imperial Japanese Commissioners for Treaty Revision toImperial Chinese Commissioners for Treaty Revision.

SHANGHAI, the 8th Day of the 10th Month of the 36th Year of MEIJI.

GENTLEMEN,

The provision contained in No. 9 of the Supplementary Rules governing steam navigation on Inland Waters published in the seventh moon of the twenty-fourth year of Kuang-hsü, regarding the appointment of an officer to collect dues and duties, not having in all cases been given effect to, we have the honour to request that Your Excellencies' Government will again issue instructions to all provinces to give strict effect to this provision, as it is a matter of importance.

We trust that Your Excellencies will comply with the request contained in this despatch and that you will favour us with a reply.

We have the honour to be,

Gentlemen,

Your obedient Servants,

(Signed) HIOKI EKI.

(Signed) ODAGIRI MASNOSKE.

Their Excellencies

LÜ HAI-HUAN, SHÊNG H ÜAN-HUAI, WU T'INO-FANG,

His Imperial Chinese Majesty's Commissioners for Treaty Revision.

ANNEX 5.

IMPERIAL CHINESE COMMISSIONERS FOR TREATY REVISION

to

IMPERIAL JAPANESE COMMISSIONERS FOR TREATY REVISION.

SHANGHAI the 18th Day of the 8th Moon of the 29th Year of KUANG-HSÜ.

GENTLEMEN.

WE have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellencies' despatch of this date to the effect that, the provision contained in No. 9 of the Supplementary Rules governing steam navigation on Inland Waters published in the seventh moon of the twenty-fourth year of Kuano-nst, regarding the appointment of an officer to collect dues and duties, not having in all cases been given effect to, you request that instructions be again issued to all provinces to give strict effect to this provision, as it is a matter of importance.

We have noted the above and have communicated with proper authorities in order that action may be taken, and have now the honour to write this reply for Your Excellencies' information.

We have the honour to be,

Gentlemen,

Your obedient Servants,

Signature of
His Excellency
Lt Hai-huax.

Signature of
His Excellency
Shêng H-tan-hual.

Signature of
His Excellency

Their Excellencies

HIOKI EKI,
ODAGIRI MASNOSKE,
His Imperial Japanese Majesty's Commissioners for Treaty Revision.

ANNEX 6.

IMPERIAL CHINESE COMMISSIONERS FOR TREATY BEVISION
to
IMPERIAL JAPANESE COMMISSIONERS FOR TREATY REVISION.

SHANGHAL the 18th Day of the 8th Moon of the 29th Year of KUANG-SHÜ.

GENTLEMEN,

According to the provision of Article X of this Treaty, regarding the establishment in Peking of a place of international residence and trade, it is agreed that in case of and after the complete withdrawal of the foreign troops, now guarding the Legations and Communications, a place in Peking outside the Inner City, convenient to both parties and free from objections, shall be selected and set apart as a place where merchints of all nationalities may reside and carry on trade. Within the limits of this place merchants of all nationalities shall be at liberty to lease land, build houses and warehouses, and establish places of business; but as to the leasing of houses and land belonging to Chinese private individuals, there must be willingness on the part of the owners and the terms thereof must be equitably arranged without any force or compulsion. All roads and bridges in this place will be under the jurisdiction and control of China. Foreigners residing in this place are to observe the Municipal and Police Regulations on the same footing as Chinese residents, and they are not to be entitled to establish a Municipality and Police of their own within its limits except with the consent of the Chinese authorities. When such place of international residence and trade shall have been opened and its limits properly defined, the foreigners who have been residing scattered both within and without the city walls, shall all be required to remove their residence thereto and they shall not be allowed to remain in separate places and thereby cause inconvenience in the necessary supervision by the Chinese authorities. The value of the land and buildings held by such foreigners shall be agreed upon equitably and due compensation therefor shall be paid. The period for such removal shall be determined in due time, and those who do not remove before the expiry of this period shall not be entitled to compensation.

We have considered it to be to our mutual advantage to come to the present basis of understanding in order to avoid future unnecessary negotiations, and we beg that Your Excellencies will consider and agree to it and will favour us with a reply.

We have the honour to be, Gentlemen, Your obedient Servants.

Signature of
His Excellency
Shens Hsuan-hua
Signature of
His Excellency
Wu Tung-fang.

Signature of His Excellency Lü Hal-huan.

Their Excellencies

HIOKI EKI,
ODAGIRI MASNOSKE,
His Imperial Japanese Majesty's Commissioners for Treaty Revision.

ANNEX 7.

Imperial Japanese Commissioners for Treaty Revision toImperial Chinese Commissioners for Treaty Revision.

SHANGHAL the 8th Day of the 10th Month of the 36th Year of MEIJL.

GENTLEMEN,

 $$W_{\rm E}$$ have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellencies' despatch of this date in which you state that—

"According to the provision of Article X of this Treaty, regarding the establishment in Peking of a place of international residence and trade, it is agreed that in case of and after the complete withdrawal of the foreign troops, now guarding the Legations and Communications, a place in Peking outside the Inner City, convenient to both parties and free from objections, shall be selected and set apart as a place where merchants of all nationalities may reside and carry on trade. Within the limits of this place merchants of all nationalities shall be at liberty to lease land, build houses and warehouses, and establish places of business; but as to the leasing of houses and land belonging to Chinese private individuals, there must be willingness on the part of the owners and the terms thereof must be equitably arranged without any force or compulsion. All roads and bridges in this place will be under the jurisdiction and control of China. Foreigners residing in this place are to observe the Municipal and Police Regulations on the same footing as Chinese residents, and they are not to be entitled to establish a Municipality and Police of their own within its limits except with the consent of the Chinese authorities. When such place of international residence and trade shall have been opened and its limits properly defined, the foreigners who have been residing scattered both within and without the city walls, shall all be required to remove their residence thereto and they shall not be allowed to remain in separate places and thereby cause inconvenience in the necessary supervision by the Chinese authorities. The value of the land and buildings held by such foreigners shall be agreed upon equitably and due compensation therefor shall be paid. The period for such removal shall be determined in due time, and those who do not remove before the expiry of this period shall not be entitled to compension.

We have considered it to be to our mutual advantage to come to the present basis of understanding in order to avoid future unnecessary negotiations, and we beg that Your Excellencies will consider and agree to it and will favour us with a reply."

In reply we beg to inform you that we agree generally to all the terms contained in the despatch under acknowledgment. As to the detailed regulations, these shall in due time be considered and satisfactorily settled in accordance with Article X of this Treaty; but it is understood that such regulations shall not differ in any respect to our prejudice from those which may be agreed upon between China and other Powers. We have the honour to send Your Excellencies this communication in reply and for your information.

We have the honour to be,

Gentlemen,

Your obedient Servants,

(Signed) HIOKI EKI.

(Signed) ODAGIRI MASNOSKE.

Their Excellencies

LÜ HAI-HUAN, SHÊNG HSÜAN-HUAI, WU T'ING-FANG,

His Imperial Chinese Majesty's Commissioners for Treaty Revision.

秘

参照 清國政府八外國政府力有用ト認ムル通商及航 海條約/修正並:通商上/關係ヲ便利ナラシ 清園政府ハ償金=闌スル第六條中ノ規定:基 キ今ョリ左記,如り白河及黄浦江水路,改良 〇清園義和園事變三関スル北京最終 協力スルコトラ約諾シタリ ヲ約諾シタリ ル為其,他,通商事項:関シ商議スへキコ 議定書第十一條明治三十四年九月七日

(甲千八百九十八年清國政府ノ協同ヲ以テ創 員」管理ノ下:再興セラレタリ天津:於ケ 國政府八直:自己,代表者ヲ該委員:加ァ ル行政ノ清國政府、返還セラレタル上八清 六萬兩ヲ支出スヘシ ルコトラ得へク且工事ノ維持費トシテ毎年 始セラレタル白河航路ノ改良工事八各国委

(乙)黄浦江更正及其水路改良工事,指揮監督 該局八上海り海路貿易:於ケル清國政府ノ ア掌ルへキ水路局ラ数置ス

職権及收入等;関スル細則ハ附属書中;之 於テ各其,半額ラ支出スへシ水路局ノ組織 尹記載又附属書第 ル費用、最初二十箇年間、毎年四十六萬两 テ組織ス經管ノ事業及一般ノ事務、必要ナ 利益ト外国人ノ利益トラ代表スル委員ラ以 ト見積り清國政府ト関係者タル外國人トコ

審查報告

謹于今回御諮詢,追加日清通商瓶海條約柳批 七日北京二於テ調印セラレタル最終議定書 准ノ件ョ審查スルニ本條約八去三十四年九月 行スルニ至ルヤ香ヤ豫メ疑ヲ挟ムへキ條項モ テ清國政府力各稱盟國ノ同意ヲ經テ之ヲ實 或、釐金制度廢止二關スルモノ ラ追加セムトスルモノニシテ其,規定中ニ 像:基之两國間通商上,関係,便利ナ ル為現行ノ通商航海條約二若干ノ條項 ノ如キ果シ

結セラレタル米清問及英清間ノ追加條約等 テ両國間ノ通商關係ノ便宜ヲ増進スルモノト ラ收ムルニ勉ル,形跡七見へ且以其大體二於 談判二蘇リテ以テ此際可成速力二實際ノ利益 約紫,如キハ最惠國保敦,應用三版リ今回歸 三對限シテ解釋スル,便宜モ之アリ且又多少 二解釋人 疑義,如キハ外交政策上故;二将来,外交 リ又像文ノ意義不明ニシテ解釋三苦と 八將來疑義ラ生スへキモ,及と彼我,問既 一致セサルモノ等モアリト蛋皮該際

認メラル 下思考人 ルニ依り原案,通り可決セラレ可然

右謹テ審查り結果ヲ報告ス 明治三十六年十一月二十八日 極密院書記官長都筑於替六

樞密院議長侯新伊藤博文殿

赐子子了月了日本母传说

H

团

及

米

利

Ŋv

台

农

图

當 图 下関 月 粮特 係本 换権 图命署 ? 名 剛 郵全 ヲル 政権 八層及間 開 設坡 长 亞小 良 ル 公 亞 米包 使 官 好 利郵 ラ 加便 し合條亞 両 彩約 間 团 赭 間 作也力 小之及 月 制 的郵 亞 , 郵為米日, 協便各利本以上 追物相加帝ラ /

台

方 三法 陷: 係依

本

う諸第

ル俗ー

入款條

>

交俗

松

セ

4

小兹

包:

邹规

便定

物人

アジア歴史資料センター Japan Center for Asian Historical Records